

市立
小諸高原美術館・
白鳥映雪館



白鳥映雪生誕110周年記念企画展
『映雪物語 画業とその生涯』

開催期間：4/29（金）～7/15（金）

小諸市滝原出身の日本画家・白鳥映雪の生誕110周年を記念した展覧会。白鳥映雪の画業の背景には、様々な物語があります。幼児期の母との死別、従軍画家としての中国への出兵、南相木村の人々の支援と交流、伊東深水との師弟の絆、亡くなった長女への鎮魂の思い、禅僧の修行を見つ



めた禅の精神世界の絵画化。その後、能の深遠さにも魅了され、これをモデルに品格ある絵画へと昇華させました。

こうした精神性の高い創作活動により、日本芸術院会員となり、日本芸術院賞・恩賜賞を受賞しました。

晩年には、脳梗塞に倒れながらも、左手に絵筆を持ち替え、亡くなる直前まで制作に励み、まさに「不屈の画家」でした。

映雪の生涯にわたる作品群の全貌を、この機会にぜひ映画画伯の作品にふれてみてください。

【ギャラリートーク「逆境を乗り越えた画業人生」】

幾多の苦境を乗り越え、日本を代表する巨匠となった白鳥映雪の画業人生を紹介します。

- ▶日時 5/14（土）、6/18（土）（内容同一）
- ▶場所 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
- ▶入場料 通常入館料（一般500円、小中学生250円）

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記



ツクシ

4月に入り、小諸でもようやく春らしい気候になった。最高気温も15度以上になる日も多い。道端で、つい最近まで気づかなかったツクシが目に入るようになった。まだまだ背が低い、ようやくこれで小諸にも春が来た気分になった。

ツクシは孢子を飛ばして増えるシダ植物の一種だ。地下茎から地上へ出る孢子茎（ツクシ）と栄養茎（スギナ）に分かれている。ツクシが大きくなってスギナになるのではなく、地下茎から伸びる光合成をする葉がスギナなのだ。ツクシが目立たなくなるころにはスギナがどんどん増えていく。

スギナはバタフライガーデンの大敵だ。抜いても抜いても出てくる。地下茎が深く、横に伸びるので抜いても完全に除去は難しい。4月末からは毎日スギナを抜く作業が続く。ツクシを見たときに、どんどん抜けば良いものを、ツクシは可愛らしいので抜く気がおこらないというのは困ったものだ。ツクシにだまされているような気になる。



孢子を飛ばすツクシ

運用代行サービスいたします! twitter facebook Instagram YouTube Google Youtube

これから始めるWEB広告

こんなお悩みございませんか？

- WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...
- 自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...
- そもそも良くわからないし、忙しくてやってられない...

様々な種類のSNS・WEB広告を一括サポートします!

- Q1 どのくらい費用がかかるの？
1ヶ月の目安 **66,000円**～
※内訳 ◎広告費: 33,000円～(税込) ◎運用代行費: 33,000円～(税込)
- Q2 運用代行って具体的には何を？
●結果を分析し、予算の中で効率化します
●利用開始の手続き
●表示する広告原稿の制作（※制作する内容により、別途お見積り）など



A/C 地域情報&広告株式会社 アイク

小諸市御幸町2-12-1
Tel.0267-23-4474
www.aic-ad.co.jp